障がいのある方の力を知ることができる場所
（販売する力と製品を作る力）

市町村名：江別市
市 人 口：121,610 人（H23.4.1 現在）
地域概況：　江別市は石狩平野の中央部に位置し、190 万都市札幌に隣接。自然環境に恵まれ、空港や港にも近いなど立地条件もよく、生活に便利で快適なまちです。
　また、北海道遺産に登録された江別のれんがや、近年は春まき小麦「ハルユタカ」の初冬まき技術の確立により誕生した「江別小麦めん」が全国的に高い評価を得ています。

1　取組のきっかけ・経過

障がいのある方の就職はとても厳しい状況が続く中で何か対策がないだろうか。また、障がい者施設で作る美味しい食べ物、質のよい製品をもっと市民アピールする方法はないだろうか。

市として、これら２つの課題に対して何かできないかと模索していた中で、平成 21 年度に「ふるさと雇用再生特別対策推進事業」が実施され、その中のモデル事業のひとつに「小規模作業所等の製品の販売を促進する事業」があった。これは課題解決のための方策のひとつになること、更には、実施に必要な事業費の財源が確保できることから、実施に踏み切ったものである。

事業の実施決定からスタートまで、補助金申請スケジュールの都合もあり、非常に短い期間であったが、市内でいろいろな製品を作っている障がい者施設のスタッフと一緒に企画、打合せを行った結果、障がいのある方が心をこめて作った製品を販売するお店「江別とき♥めいく」開店となった。

事業は、市から江別市在宅福祉サービス公社に委託して実施している。

また、この事業の実施にあたり、事業安定化（販売促進）のためには、市内の大型店舗に出店することが特に有効であると考えていた。現在、販売スペースを提供していただいているイオン北海道株式会社は、2009 年に札幌市と「さっぽろまちづくりパートナー協定」を締結しており、既に札幌市内の店舗で、障がい者施設で製作した製品の販売をしている実績がある。この情報のもと、イオン北海道株式会社に相談したところ、その場で快く応じていただき、更に翌日には、現在店舗があるイオン北海道江別店（当時のポスフール江別店）の店長から今後の進め方について連絡をいただくなど、すぐに具体的な準備をはじめることができた。開店後もスペースの提供のみならず、販売面へのアドバイスをいただくなど、全面的な協力を得ているものである。

事業は、市から江別市在宅福祉サービス公社に委託して実施している。

【ポイント等】
開店までの準備期間が非常に短く、市担当者のみでは限界を感じている中、市内で製品を作っている障がい者施設のスタッフに協力を求めたところ、「協力ではなく、自分達も一緒に立ち上げる」という思いのもと、販売店の企画、運営の方法、仕入れ先の確保など、積極的に、精力的に関わっていただいた。オープン後の今も関係者として携わっている。

２　事業（活動）内容

「江別とき♥めいく」では、市内及び近郊の障がい者施設で作っている製品の販売を行っているが、開店時は数やスペース、内容的にも余裕があった商品は、スタッフや立ち上げ時に携わった障がい者施設スタッフの営業活動と、納品する障がい者支援施設の口コミなどにより、今では食品から雑貨まで 22 法人等 30 施設等から納品されるまで拡大した。数にすると約 300 品目もの製品が納品されており（平成 23 年２月末現在）、定番から季節ものの商品まで、たくさんの製品が売り場を賑わしている。

また、販売員として障がい者５名を雇用し、販売業務全般を行っている。さらにコーディネーター2 名を配置し、販売員５名とともにシフトを組んで業務にあたっている。

更に、障がい者施設等からの実習生の受入も行っており、今後は更に積極的に受け入れる体制を整えることで、障がい者の雇用の場としてだけでなく、就労に向けた訓練の場としての機能も併せ持ちたいと考えている。

【わがまちの工夫（特徴）・売りのポイント】

- 販売する商品については、市内及び近郊の施設に限定することなく、全道域で応じている。
- 障がい者施設の製品販売、障がいのある方の雇用のほか、就労に向けた訓練の場として、障がい者施設から実習生の受入を行っている。

障がいのある方が
心をこめて作った製品を
販売するお店です。

３　成果・効果

平成 21 年 10 月に開店し、平成 23 年３月末で１年半が経過し、売上も安定してきているところである。今では 22 法人等 30 事業所から製品が納品（平成 23 年２月末現在）されており、障がい者施設で作った製品をアピールすることはできていると思われ、また、販売員として障がいのある方を雇用することで、障がい者雇用、就労支援に一定の効果があったと思われる。

多くの来客が見込まれる大型店舗での常設販売は、商品の売上はもちろんのこと、来客とのふれあいが、障がい者雇用を取り巻く場面で大きなメリットを生んでいる。

４　課題・これから

開店から１年半が経過し、売上については現在まで順調に推移しており、１事業としては一定の効果が出ている一方で、運営費のほとんどを占めている「ふるさと雇用再生特別対策推進事業」の補助金が 23 年度で終了するため、運営費の確保が今後の大きな課題となっている。

補助期間終了後の運営方法については、現在、関係者間で検討をしているところである。開店してから１年半を経過し、売上げは安定してきているものの、自力運営はまだまだ難しいところであり、今後、これまで以上に認知度を上げる努力を図るとともに、店舗販売のみではなく、現在行っている外販を拡大していくなど、販売促進、事業運営の安定化に向けた取り組みを一層進めていくことは当然必要である。

また、販売実習生を積極的に受け入れ、今後の就労支援に向けたステップの場として活用するなど、販売促進と併せて、販売以外の部分でも「江別とき♥めいく」の存在価値を高めていくことが喫緊の課題とされている。

とれたて卵や　きれいなお花　めだま商品盛りだくさん　いきいき笑顔で　とき♥めいく

問合せ先：江別市　健康福祉部　福祉課　障がい福祉係
〒067-8674　江別市高砂町６
TEL　011-381-1031（課直通）　ﾌｧｯｸｽ　011-381-1073
Eﾒｰﾙ　fukushi@city.ebetsu.lg.jp